

患者さんに寄り添って装具をつくる

ゆうげんがいしゃ あさ ひ ぎ し せいさくじょ
有限会社 朝日義肢製作所

〒482-0042 岩倉市中本町東葭原 5-7
TEL : 0587-66-6348

■会社概要

1984(昭和59)年に、他の義肢装具製作所で働いていた夫婦が、岩倉市本町で創業した義肢装具製作所です。

主な業務は装具製作です。装具とは、事故や病気などで腕や足、体幹の機能に障害を負ったときに、その機能障害の軽減を目的として使用する補助器具のことを言います。現在、従業員は11名、そのうち国家資格である義肢装具士の資格保持者は4名います。



けがをしたときなどに装着するコルセットやサポーターなどの装具をつくっている会社が岩倉市にあります。

時代の変化に応じた装具づくり

社会環境の変化で症状や使用する装具が変化しています。

例えば、パソコン作業が多くなっているため、背骨の変形やヘルニア等の障害が出る人が増えていたり、路面環境の変化によって膝関節の変形という症状が多くなっています。

また、膝関節に障害がある場合、従来は膝にサポーターをすることが多かったのですが、最近は足の裏に傾斜のついた足底板(そくていばん)をあてがうことによって膝を矯正することが多くなりました。

装具づくりは時間との闘い

基本的には、契約している病院で、決まった曜日・時間帯に担当者が待機し、医師によって装具が必要と診察された場合に、患部の型をとり、寸法などを測定し、製作することになります。一般的には、営業と製作の担当者は別々なことが多いですが、ここでは一人が二役を担っています。

装具は治療が目的なので早く納入することも大きな使命です。骨折箇所の装具を製作する場合、通常、型を取ってから1週間程度かかるのが普通です。しかし、ここでは約4日間に対応します。

つけたくなるコルセットづくり

コルセットの装着は治療であるにもかかわらず、「面倒だ」、「恥ずかしい」というような理由で装着しない人が多いです。そこで、装着したくなるコルセットづくりに取り組んでいます。

コルセットは型取りして採寸した情報から、3パーツの布を用意し、それを縫製して作り込みます。この際、布はベージュや白・黒といった配色のものが標準的です。しかし、患者さんの意向に応じて、チェック柄や花柄の布にしたり、黄と黒のスポーティーな布にして、たとえば見えたとしても気にならないようなコルセットを作っています。

「早く治つてもらうために、どうしたらよいか」それだけを考えて工夫しています。

田畑桂子会長は「女性義肢装具士が珍しかった創業当時から40年間、やめずに続けてきてよかった」と話してくれました。患者さんが早く治ることを切に願う強く純粋な想い、そこに細やかなアイデアや心遣いが合わさり、朝日義肢製作所の患者さんに寄り添った装具づくりの精神が築かれています。

